

旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース/フィールド
地理歴史	日本史基礎	2	2	選	特進コース
科目の目標	我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、歴史、そして日本に対し、興味・関心をもつ姿勢を育てたい。				
教科書	詳説 日本史 (山川出版社)	副教材等	必要に応じて用意する		

1. 学習の到達目標

- ①我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
- ②各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
- ③歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
日本文化のあけぼの	5	4	日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会と弥生文化の形成を理解する。 地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。	○	○	○
律令国家の形成	6	5	ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目すること。律令国家が成立するまでの政治の動向や律令体制の状況、平城京時代の政治を多角的・多面的にとらえて考察する。	○	○	○
貴族政治と国風文化	8	6	藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる。	○	○	○
中世社会の成立	4	7	院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。	○	○	○
武家社会の成長	9	8	南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する	○	○	○
幕藩体制の確立	8	9	織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。	○	○	○
幕藩体制の展開	6	10	江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。	○	○	○
幕藩体制の動揺	4	11	農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。	○	○	○

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
近代国家の成立	4	11	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。	○	○	○
二つの世界大戦とアジア	6	12	第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。	○	○	○
占領下の日本	9	1	戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。	○	○	○
高度成長の時代	4	2	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。	○	○	○
激動する世界と日本	2	3	ドル＝ショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察する。冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる	○	○	○